

たが

2015年2月(第144号)

こんにちは 
議会です!!

(滋賀県多賀町)



消防出初式「災害のない安心安全な1年」に

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| ・ 補正予算を審議 …………… 2 | ・ 委員会審議 …………… 6 |
| ・ 12月定例議会 …………… 4 | ・ 町政を問う(一般質問) …………… 9 |
| ・ 町長の行政報告 …………… 5 | ・ たが いいところ 再発見!! ……16 |

補正予算 8,427万円を審議

予算特別委員会

12/11

一般会計の補正予算を審議しました。

補正予算おもな内訳

	(万円)
ふるさと納税 記念品	482
図書の購入(小中学校)	130
がんばる商店 応援	370
消防施設の整備	200
介護予防 備品	180
除雪対策	202
農業支援	217
サクラの植栽	400
まちづくり基金への積立て	728
橋の長寿命化対策	3,000

問 購入までの経緯は、滋賀中央信用金庫さんから教育目的の寄付があった。一般財源を充当して、小中学校の図書館教育を充実させる。

問 除雪の範囲は、今回から歩道の除雪を予定している。あけぼのパークから名神までの歩道である。通学路の除雪にも拡大していきたい。

問 対象となる橋の数は、点検作業の内容は、2m以上の橋が対象。143橋である。近接目視による点検をしていく。

問 補助の内容は、3件分である。新規開業の事業費2分の1以内で補助する。300万円を限度とする。

答 三種の神器補助金は事業費の2分の1で10万円を限度とする。

がんばる商店応援補助金



問 費用の内訳は、914人から納税があった。おもに米と、送料である。

ふるさと納税記念品

消防設備の整備

問 追加整備の内容は、藤瀬区内に防火水槽を設置する。従来の屋外オープン式をとりやめて、4tの水槽を設置する。その際、型擁壁による補強が追加で必要となった。地元にも了解を得た。

介護予防 備品購入

問 内容は、川相生活改善センターの改修に、血圧計、テレビなどの備品を購入する。

答 年内の完成をめざす。

農業支援

問 補助の内訳は、コンバイン1台の購入への助成と、ほ場整備の畦畔除去への補助である。

サクラの植栽



問 植栽の場所と規模は、敏満寺の残土処分地に実施する。台風の際に斜面が崩れたこともあり、植栽により補強する。サクラの木800本を18,000㎡に植えて、町が管理する。



除雪対策
(重機借上げ料 3台分)
202万円



がんばる商店 応援
(3件分)
370万円



図書の購入
(小中学校へ)
130万円



サクラの植栽
(800本)
400万円



橋の長寿命化対策
(143橋)
3,000万円

12月定例議会

12/5

12/19

住みやすさをめざして

・補正予算	1件
一般会計	1件
特別会計	4件
企業会計	1件
条例の改正	2件
協定の変更	1件
同意	3件
認定	1件
契約の変更	1件
請願	2件

補正予算を可決しました

26年度補正

一般会計(第3号)	8427万円増
特別会計	650万円増
国民健康保険事業	2629万円増
介護保険事業	194万円減
企業会計	
水道事業	

湖東定住自立圏の協定書内容が変わりました。

おもな内容
産業振興
びわこ湖東路観光協議会(1市4町、米原、東近江)という枠組みで、広域観光に取り組み。

有害鳥獣対策
鳥獣害防止対策検討会へ取組みを移行させる。

公共交通ネットワーク
湖東圏域公共交通活性化協議会(1市4町)の設立
「愛のりたくシー」の利用促進、啓発に取り組み。
バイコロジー自転車道の整備は、1市4町それぞれですめる。

行政システム
コンピュータシステムの共同利用は、県内6町で自治体クラウドを推進する。

地区計画(都市計画)条例ができました。

地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例を制定しました。

おもな内容

・適用区域名	県道甲良多賀線沿道
・建築物の容積率の最高限度	200%
・建ぺい率の最高限度	60%
・敷地面積の最低限度	200㎡
・建築物の高さ制限	12m
・罰則	50万円以下の罰金



地区計画(多賀地先)

国・県へ要望しました。

多賀町議会は意見書を国・県へ提出します。

国へ

米価下落等に関する意見書

1. 米の需要拡大に向けた対策を講じること。
2. 米の直接支払交付金制度を前年度並みに戻すこと。
3. 26年産米での収入減少にに対し交付金の早期支払いと、2割以上の収入減少に対して国が補てんすること。
4. 資金繰りに影響のある農業者に対し、緊急融資などの対策を講じること。

県へ

芹谷地域振興事務所の存続等を求める意見書

1. 事業完了まで芹谷地域振興事務所を存続すること。
2. 早期の道路整備と落石対策を図ること。
3. 芹川の浚渫と流路の確保のための措置を講じること。

財産区の委員が決まりました。

- 多賀財産区委員
- 山本 登英 氏
- 宮野佐喜次 氏
- 桂 善蔵 氏

町道に認定されました。

名称 柳町2号線 (多賀区)



町道認定(柳町2号線)

放課後児童クラブ建設工事契約変更しました。

- ・請負者 村田組
- ・金額 58万円増
- (非常出口、手摺りの追加工事によるもの)

臨時議会

H26 11/27

H27 1/8

第4回(11月)

・専決の承認	1件
・条例の改正	3件
・補正予算	1件
一般会計	1件
特別会計	5件
企業会計	1件

衆議院総選挙の事務予算を承認しました。

26年度補正

一般会計(専決)	774万円増
おもな内訳	
・揭示板設置	4万円
・消耗品	147万円
・投票立会人など報酬	425万円



揭示板・懸垂幕設置

職員などの給与が変わりました。

8月の人事院勧告を受け、国家公務員の給与法改正を基本として算出された。

26年度補正

一般会計(第4号)	445万円減
特別会計	5件
企業会計	72万円減
水道事業	40万円増
条例の改正	
・職員の給与	
・特別職の給与	
・教育長の給与	

水道事業 40万円増



第1回(1月)

・契約の変更	1件
・町道認定	1件
・議長選挙	

新議長が決まりました。

投票結果
議長 北川 久二 議員

急傾斜対策工事契約変更しました。

請負者 岡興業
金額 541万円増
(八重線区内での舗装復旧、残土処分など)

町道に認定されました。

名称 上三分一線 (多賀区)

町長の行政報告

町長の行政報告

放課後児童クラブの竣工

12月25日に竣工式を迎えた。現在の小学3年生までから6年までの児童が入所可能になる。



放課後児童クラブ竣工

地域支えあいモデル事業

尼子、水谷、大君ヶ畑の3地域で、地域支えあい健康長寿のまちモデル事業を実施している。元気な高齢者が能力を活かし、趣味の活動や困りごとに対応する仕組みづくりを目的としている。

通学路の安全対策

25年度からグリーンベルトなどを設置し、安全対策を進めてきた。引き続き進めていく。10月に通学路安全推進会議を立ち上げた。11月に安全点検を実施した。早期に通学路交通安全プログラムを策定し、予算を考慮しながら対策を進めていく。

町制60周年記念事業

町制60周年記念事業

多賀町は来年度町制60周年を迎える。式典のほか、特別イベントとして、キリンビールのアルミ缶の空き缶を利用した、巨大モニユメントの制作を検討している。現在2万個を回収した。目標の10万個に向けて、今後も町民の皆さまにお願いしていく。



多賀ふるさと楽市



6町の共同利用(クラウド化)

安心・安全のまちづくり

産業建設常任委員会

12/10

定住自立圏の協定書を審議しました。

質疑の主なもの

問 今後5年間の協定書となるのか。

答 過去5年間の経過を踏まえた修正や削除はある。今後5年間にについては来年3月に提案予定である。

問 コンピュータシステムの共同利用は進んでいるのか。

答 クラウドによる経費削減を県内6町で進めている。

問 多賀スマートインターの計画が次の協定内容に入る可能性は。

答 現時点では答えられない。

地区計画の条例を審議しました。

質疑の主なもの

問 近隣住民から心配の声は。

答 事業者から多賀、土田、中川原への集落説明会があった。大きな心配はなかった。

問 申請者による計画の提出から都市計画決定までの流れは。

答 広告・縦覧後、都市計画審議会、県知事の同意を経て、決定・告示となる。

問 都市計画審議会で出された意見は。

答 近隣住民に説明するよう意見が出た。事業者に伝えると、周辺世帯へ説明に回られた。

町・県 建設事業の進捗状況

町事業

事業名	地先	進捗状況
道路改良	月之木・久徳	H26.12完了
	多賀	H27.3完了予定
	敏満寺	H26.9完了
橋梁改良	八重練・霜ヶ原・萱原	測量H26.12完了
急傾斜	八重練	H27.1完了
	尼子	H26.9完了
交通安全	多賀	H26.9完了
	土田	H27.3完了予定
災害復旧	河内(中村橋)	H26.5完了
浄水場整備	大君ヶ畑	H27.3完了予定

県事業

事業名	地先	進捗状況
道路改良	藤瀬	H27.3完了予定
	佐目(国道306)	測量H27.3完了予定
	佐目(大西橋)	H27.3完了予定
河川(災害)	久徳・佐目	H26.7完了
(護岸)	萱原	測量H27.3完了予定
砂防	佐目	H29年度完了予定
	萱原	H26.11完了
急傾斜	萱原	H27.5完了予定

進捗状況を調査しました。

質疑の主なもの

問 工業団地の消雪設備水量は十分か。

答 取水する池には2000m³の水がある。

ゾーン30の箇所を増やしては。

質疑の主なもの

問 配水管布設替工事の水道管の耐用年数は。

答 耐震管を使用している。耐用年数は60年と計算している。

国道307号の改良工事が入札不調で着手だが。

質疑の主なもの

問 国道307号の改良工事が入札不調で着手だが。

答 2013年の道路アクションプログラムに採用されている事業なので、引き続き再入札を働きかける。

住民の健康増進をめざして

総務常任委員会

11/5

予算の補正

国民健康保険事業
650万円(増)

高額療養費の制度改正によるシステム改修、データヘルス計画の策定。

質疑の主なもの

問 データヘルス計画とは。

答 健康診断結果などの情報を活用し、健康づくりや疾病予防、重症化予防を行うもの。

問 データ入力など管理体制は。

答 検診結果を入力し、月に一度現状を把握。

問 一年間で高額医療対象の人数と金額は。

答 約80人。月平均約44万円。昨年より減少しているが、脳血管疾患が多い。

介護保険事業
2630万円(増)

介護給付費の不足に伴うもの。

質疑の主なもの

問 当初予算の段階で把握できなかったのか。

答 前年の実績から推計して予算化しているが難しく、4カ月分が不足する。

問 居宅介護住宅改修費100万円の増額。実績は。

答 予算250万円で、現在12件、約183万円である。

問 住所地特例の対象施設見直しの内容は。

答 27年4月から民間の高齢者サービス付き施設にも適用するもの。

閉会中の調査

11/7

教育所管を調査しました。

多賀小(1年) 多賀中(1年)

ICT事業

映像出力用プロジェクトやタブレットパソコン等のICT機器を効果的に活用し、授業への興味・関心を高め、わかりやすく取り組みされている。

学習についていけない子どもの指導は。

答 特別教育支援員を配置している。

問 スクリーンは、場所により見えにくいことはないか。

答 確認をする。

問 ICT機器の保守・点検体制は。

答 今後、維持管理費用は必要となるが、5年間の保守は確保されている。

問 小学校も防災関係に活用すべきでは。

答 今後、各学校に実施するよう指導する。

放課後児童クラブ新築工事

工事の遅れは。

答 8・9月の台風等で10日程度。現在はほぼ予定通りの進行。

問 来年4月から6年生まで拡充し、定員80名を超えた時の対応は。

答 120名までは可能。

問 大滝小児童への対応は。

答 従来通り送迎する。

問 駐車スペースが少なくなるが、対応は。

答 PTAの参観日等は、グラウンドを利用。



人気の「じだらく体操」



ICT学習視察



建築現場の視察

12月定例議会では10人が登壇し、町政の将来を見据えて、一般質問を行った。

- 1 山口久男…………… P10
介護保険制度の見直しは
放課後児童クラブ(学童保育)は
中学校給食の改善・充実は
- 2 大橋富造…………… P10
老々介護世帯への施策は
- 3 富永 勉…………… P11
米価下落の対応策は
町道小森池線信号機の早期設置を
- 4 深田治夫…………… P11
ストップ・ザ 少子化
中央公民館建て替え計画の進捗状況は
- 5 田畑喜久弘…………… P12
認定こども園新設の可能性は
門前町活性化施策に文化的要素を
- 6 原田亀雄…………… P12
「日本遺産」登録に向けた戦略は
- 7 川添武史…………… P13
平成27年度予算は
門前町絵馬通りの改修は
- 8 川岸真喜…………… P13
芹谷と大滝に「保健センター」を
もんぜん亭の新たな展開は
大岡高塚古墳の修復予定は
- 9 竹内 薫…………… P14
門前町通りの現状と今後は
- 10 北川久二…………… P14
感応式信号機の待ち時間の改善は
小学5・6年に再度の自然体験宿泊研修を

12月定例議会

町政を問う

一般質問は10人が質問

ダム対策特別委員会

11/2

議会改革特別委員会

11/8

進捗状況を調査しました。

町事業

問 町の振興事業は27年度完成を目指すのか。
答 県事業と合わせ、交付金の関係もある。

問 県のダム対策事業は27年度で完了するののか。
答 27年度事業予算8億円を要求。年度内完了予定。

県事業

問 振興事務所の存続については、地元も不安に思っているが。
答 人事当局と1月に協議をする予定である。

問 振興事務所は27年度で廃止になるのか。
答 確定していない。事務所の存続にかかわらず事業は執行する。



現地視察(水谷地先)

町・県 ダム対策事業の進捗状況

町事業		
事業名	地先	進捗状況
防火水槽整備	上水谷	H26.9完了
集落道整備	上水谷	進捗率60%
	下水谷	進捗率70%
	栗栖	進捗率10%
加圧所整備	下水谷	発注済み
上水道整備	栗栖・水谷	工事完了
墓地整備		測量 地権者協議中
ほ場整備		第1工区実施中
集会場整備	栗栖	補助金交付決定済み
県事業		
事業名	地先	進捗状況
県道水谷彦根線		
バイパス工事	多賀町側	一部入札待ち
	全線	27年度完了予定
県道多賀醒ヶ井線		
現道拡幅、落石対策	甲頭倉	H26.6完了
現道拡幅	下村	H26.11完了
	栗栖	H26.9完了
	一円～栗栖	H27.9完了予定
	中村150m	H27.10完了予定
	下村150m	H28.3完了予定
	宮前100m	H28.3完了予定
落石対策	下村	H27.3完了予定
	栗栖	H27.5完了予定

商工会と懇談しました。

11月18日、「多賀町商工会と議会との懇談会」を工業部会の方々と開催しました。
参加された8人の会員さんと活発な意見の交換ができました。

貴重な意見の一部を紹介します。

- 多賀町に住む人だけでなく交流人口の対策を。
- サルの出没回数が増えている。対策を。
- 工業団地へのアクセス面の対策を。
- 町道小森池線開通で工業団地からのアクセスが良くなった。
- 起業時に賃借した場合の支援対策を。
- 地域産木材を利用したブランド化の開発を。
- 知的障がい者の就労支援に取り組んでいる。
- 衰退する商店に有効な手立てはないのか。
- 6次産業化の取組みも急速に進んだが難しい。
- 多賀町は消滅可能性自治体に入ったが存続すると思っている。積極的な施策を。
- 25年度歳出決算での商工費は1%。もう少し増額できないか。
- 多賀町にスマートインターチェンジを設置し地域経済の活性化を。



多くの意見が出された懇談会

このほかにも数多くの意見や提言がありました。今後の議会活動に反映させます。



山口 久男

介護保険制度の見直しは 29年度に向けて検討

—町長—

総合事業」に移行される。要支援サービスへの移行について法律では2017年3月末まで自治体の判断で実施を遅らせることができるとしているが。

町長

27年度は、今までどおり。29年度から実施。

質問2

放課後児童クラブ（学童保育）は

入所対象者が来年4月1日より6年生まで引き上げられる。

指導員の確保は。入所予定者数の把握は。保護者への周知は。

教育次長

1クラス3人予定。5年間のニーズ調査実施、80人予定。待機児童がないよう努める。1月下旬入所案内配布。町広報、ホームページ。

要支援1、2が介護保険制度から外され、町が独自で実施する介護予防生活支援総合事業が、新

質問3

中学校給食の改善・充実

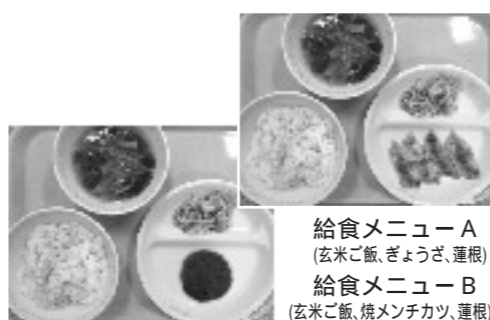
調理業務が民間委託されている。「自校直営の小学校給食がおいしい」と評判。

生徒、保護者、学校の意見要望が給食委員会に反映され業者に伝達されているか。

献立委員会開催状況、学校給食にふさわしい改善と検証は。

教育次長

毎月初旬に時間を設けて、要望など検討事項として随時伝達。ご飯量を分類、選択、毎月5日程度検査。



給食メニューA (玄米ご飯、ぎょうざ、蓮根) 給食メニューB (玄米ご飯、焼メンチカツ、蓮根)

この秋の水稲の作況指数は、平年を下回る状況になった。概算金も60kgあたり昨年比で1500円〜3000円の安値で米価下落は避けられない。

富永 勉

米価下落の対応策は 高い価格での販売を

—町長—

ナラシ対策による一部補てんが見込まれる。農業者連転資金を確保する融資利子助成方針が示された。認定農業者、特定農業団体などの大規模農家、新たに農協に出荷する農業者にも可能。概算額は、返還が生じないため設定であり高い価格

町長

5月から供用開始され、大滝方面から彦根方面へのアクセスが良くなった。反面、スピードを落とさず交差点を走り抜ける車もあり、たて続け事故が発生している。早く信号機を設置し安全な交差点に。早朝から大型トラックがクラクションを鳴らしながら通り、地元からの苦情があるが改善策は。

町道小森池線信号機の早期設置を

質問2

での販売を要望する。ふるさと納税の記念品として多賀産米の消費拡大と周知に努める。

町長

彦根署、県警本部へも要望している。交通量の状況を判断し検討。地元からの要望はきいていない。

深刻な米価下落



大橋 富造

老々介護世帯への施策は 助け合う仕組みづくりを

—福祉保健課長—



老々介護

である。介護を担う家族の負担は重い。

本町の高齢化率は約31%、高齢者世帯35.6%。一人暮らしは44.6人。

高齡化が進むなか介護対象者の増加が予想され、介護は家族頼みの状況で対象者は特別養護老人ホームの入所待ちをしている。

厚生労働省は在宅サービスに力を入れている。本町の待機者の実態は。次年度に向け、自立圏構想の中で福祉施策の行動計画は。

福祉保健課長

犬上ハートフルセンター 127人、多賀清流の里 34人、複数の施設に重複申込みもある。

本町独自の福祉施策は

特別養護老人ホームの新規入所者を要介護3〜5に、所得に応じた負担が2割になった。本町独自の福祉施策は。

町長

保健・医療の充実、地域の絆を深め行政と住民との信頼関係の構築をめざし助け合う仕組みづくりに取り組む。



深田 治夫

ストップ・ザ 少子化 若者定住をすすめる

—町長—

日本創成会議では地域間の人口移動が収束しないと仮定、若年女性人口が2040年に5割以上減少する市町村は896、その半数523町村の中に多賀町が入ると試算。少子化を止める対策は。

町長

子育て、若者定住支援地域間のアンバランス解消、山間部の空き家対策。

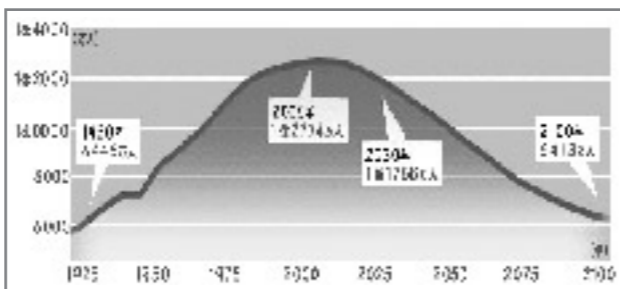
質問2

中央公民館建て替え計画の進捗状況は

場所、建築物の構造、設計図を早く示すべきだ。住民、企業に喜ばれる公民館になるよう一日も早い実現を望む。進捗状況は。

町長

現在の場所である。26年度内に基本計画の取りまとめ、27年末基本設計作成、28年秋ごろ実施計画のとりまとめ、29年秋工事発注、31年3月完成をめざす。構造は、地元産木材を使用した木造平屋建てを基本に考えている。木材の調達に時間がかかる。



人口減少(日本人口の推移)



深刻な米価下落



質問1

認定こども園新設の可能性は

—町長—

幼児教育あり方検討委員会で検討中

田畑 喜久弘



保育園の運動会

平成27年4月開始の、子ども・子育て支援新制度の目玉の一つとして注目されている、幼保連携型認定こども園。

本町では近年、住宅施策が功を奏して人口増に反転しかけています。3年後には保育園に定員超過が生じる予測がされている。子育て熱心の本町に待機児童が生じない方策を。

町長

平成27年4月から始まる予定の子ども・子育て支援新制度実施に向け準備を進めている。今年度から発足した幼児教育あり方検討委員会で、認定こども園も選択

肢に含め検討いただき、3月には提言がいただける見込み。待機児童を生じない取り組みを進めていく。

質問2

門前町活性化施策に文化的要素を

門前町活性化はソフトからハードの段階に入ると聞く。街並み整備に加えて空き家対策にもなる。空き家を活用した具体例としてリラクゼーションマツサージなどは可能か。(リラクゼーションとは休養・息抜き・気晴らし)

企画課長

絵馬通りの活性化を図る取り組みは、ソフト・ハード両面で進めてきた。時代の先取りの面と利用者のニーズから、指摘の業種を含め新店舗も進出していただけることを期待している。

質問1

平成27年度予算は

—町長—

諸施策を確実に進める



川添 武史

平成26年度の決算見込みはどれぐらいの金額になるのか。

平成27年度予算については、「第5次多賀町総合計画」から5年目となり、町長2期目の最終年度であり、どのような施策を講じるのか。

町長

26年度一般会計決算見込みについては、現時点では約47億円の見込み。27年度は、第5次総合計画策定から5年目。前期計画を検証・評価し、高齢者生きがい対策、子育て支援、教育の充実、定住促進、地域づくり、防災の強化、環境対策、



第5次多賀町総合計画



質問1

「日本遺産」登録に向けた戦略は

—町長—

日本遺産を目指す

原田 亀雄



来年度に創設されようとしている「日本遺産」制度について尋ねる。

制度創設までの経緯とその概要。

登録申請に向けた本町の取り組みと、その考え方。

登録申請の時期、テーマ、エリア、戦略は。登録申請に向けた新たな戦略の提案として。

- (1)世界に通用する「能・狂言」ルーツ、近江猿樂発祥地。日本一、二のイザナギ、イザナミ両神を祀る地。日本の文化歴史で注目の、石仏谷中世墳墓群。
- (2)そのための整備
- (3)登録後の管理運営

町長

地域に点在する史跡・伝統芸能など有形無形の文化財をパッケージ化し、わが国の文化・伝統を語るストーリーとして構成できる魅力のあるものを日本遺産に認定するもの。

本町として、登録に積極的に申請していく。最も早い時期での申請の可能性は、次年度4月。テーマはストーリー性と創造性を高め、わかりやすく、面白く興味のある内容に、さらに広域的な計画になるよう県から求められている。「村山たか」を題材とし地域を紹介する案を再提出している。



胡宮神社



質問1

質問1

芹谷と大滝に「保健センター」を

—副町長—

介護予防とモデル事業で充実を

川岸 真喜



川相生活改善センター

を防ぐ取り組みも必要である。山間地での効果ある保健施策のためにも上記2カ所に保健センターを設置しては。

副町長

芹谷地区では地域支えあいモデル事業を、大滝地区では、介護予防事業を実施している。それらが保健センターの機能を果たす。

質問2

もんぜん亭の新たな展開は

もんぜん亭は住民との交流に貢献している。観光客との交流に役割を果たすためにも、2号館など設置しては。

生涯学習課長

イノシシによる土の掘り起しが懸念されるため、予定はない。

質問3

大岡高塚古墳の修復予定は

この古墳は1年以上修復が進まず、ピニールシートで覆われている。修復の予定は。



水谷公民館

町長

もんぜん亭を観光客が利用できるよう、情報発信や交流の場として展開ができないか関係者と研究、検討していきたい。



気軽に懇談しませんか？

議会改革特別委員会では、議会の活性化について継続的に検討しています。議会活動の充実を図るため、各集落や各種団体の皆さまとの懇談会を開催しています。

懇談会は、随時受け付けします。開催日程、場所など、ご相談に応じさせていただきますので、お気軽にご連絡ください。 議会事務局 ☎48-8126 (有線)2-2011



「伝える広報」から「伝わる広報」へ



10月21日～22日、全国町村議会広報研修会に、広報委員全員で参加しました。

「文章の書き方・レイアウト・掲載する写真」をテーマにした内容でした。議会広報クリニックでは、多賀町の議会広報を批評いただきました。他の議会の広報誌を見ることで多賀町の議会広報誌の良さや改善点の確認ができました。町民の皆さまの手に取っていただける広報誌となるよう努めます。

インターネット人権啓発 議員研修

12月25日、滋賀県主催のインターネット人権啓発研修会に、議員全員で参加しました。

スマートフォン依存、炎上問題などが報じられ、子どもたちとインターネットの問題は社会問題になっています。中でも、子どもたちの個人情報流出の問題は、大きな課題です。

「知らない」「わからない」では済まされません。当事者になって個人情報を公開したり、されたりする前の教育が必要だと思えます。



傍聴者アンケート

6月定例会から、傍聴された皆さまにアンケートのご協力をお願いしています。

12月定例会でいただいた意見を紹介します

傍聴が増えるような対策を望みます。土・日開催の設定もいいのではと思えますので検討をお願いします。



テレビ中継

皆さんの声をお寄せください

庁舎1階ロビーに設置の大型テレビに、本会議の様子を放映しています。お気軽にお立ち寄りください。また、傍聴アンケートに、皆さんの声をお聞かせください。



お詫びと訂正

議会だより143号に誤りがありましたので、お詫びして訂正します。

3ページ/平成24年度末 基金の残高
その他8基金 × (誤) 4,979万円
(正) 12億9,968万円

質問1

門前町通りの現状と今後は

—町長— **道路整備から進める**



竹内 薫



門前町の活性化を

町長 町長が掲げている多賀町活性化の大きな柱の一つでもある、多賀大社門前町の活性化が急がれる。活性化に向けて、道路整備計画や東京大学の教授による助言・先進地視察も行われている。先進地視察・大学教授の助言などによる現在の状況は、門前町の将来構想と今後の進め方は、
一体となり、駅前整備、商店街のファサード整備や街路灯、空き店舗対策の取り組み。大学教授の講演会や先進地視察を行った。(ファサードとは通りに面した建物の正面部分) 景観や歩く人に配慮した道路整備を中心に、空き家・空き店舗活用を図り、元気と賑わいを取り戻す。
多賀大社前駅・多賀大社・多賀サービスエリアを結ぶ人の流れも、活性化には重要と考える。

質問1

感应式信号機の待ち時間の改善は

—町長— **車両の円滑な流れを妨げる**



北川 久二

交通の流れをスムーズにし、交通事故の減少を図るため、本町の主要な

町長 待ち時間に差があることは承知しているが、時間設定の変更は、系統的に管理されている車両の円滑な流れを妨げることから困難。
交差点に感应式信号機が設置されている。信号機の待ち時間は、主となる道路の交通量などを考慮し、個々の設置箇所により異なっている。待ち時間が長い信号機は1分20秒程度、短い所では10秒程度である。待ち時間の改善は、

質問2 小学5・6年に再度の自然体験宿泊研修を
高取山ふれあい公園内に建設された、自然体験宿泊施設を利用した、やまのこ学習を再度実施し、感性豊かな子どもを育てることが大切では。
教育長 3学期の実施は教育課程の組み替えが難しく不可能。
5年生の来年度実施も修学旅行などもあり困難



感应式信号機

たが いいとこ再発見!!

第3回

川相と
萱原

川相

木下 祐輔さん

Q 集落のいいところは、

A 人口は少なくても、むらづくり活動や伝統行事を通じて、若者から高齢者までが良くまとまっています。山と川にかこまれた環境も魅力です。

Q どんな伝統行事？

A 赤淵神社のまつりです。毎年5月3日におこなわれ、神輿の奉仕で住民が一致団結します。この日のために帰省して参加する人もいます。神輿は神社を区長宅、宮世話宅に寄りながら、大滝小学校近くにある御旅所を目指します。今年は大滝神社の神輿輪番でもあるので、住民とおしの絆がさらに深まると思います。



伝統の正月飾り

伝統
継承



赤淵神社 春祭り

萱原

大久保 喜久夫さん

Q 集落のいいところは、

A 若い世代の転出が多く、高齢化してきましたが、公民館活動や神社の行事、清掃活動などで住民どおしが協力しあっています。犬上ダム湖での愛鳥活動も続けています。

Q どんな伝統行事？

A 湯の華神楽です。萱原神社の春祭りの行事です。宵宮は太鼓を力強くたたき、夜中まで火を焚いて拝殿で過ごします。本宮は本殿祭と神楽奉納のあと、釜に沸かした湯に、供えた酒と塩を入れ、笹の葉をひたして参拝者に向けてまかれます。その湯をいただく一年間無病息災で過ごせるといわれています。



湯の華神楽



宵宮の焚き火



力強い太鼓

議会を傍聴してみませんか？ 3月定例会の日程予定

会期	本会議が傍聴できます。
3月4日	4日(水) 9:30~ 議案審議
3月24日	5日(木) 9:30~ 一般質問
(21日間)	24日(火) 15:00~ 議案審議

日程は変更になる場合があります。
議会事務局 ☎ 48-8126
(有線) 2-2011

たが いいとこ再発見!!

原稿募集!!

あなたの住んでおられる地域の魅力を再発見できるコーナーをめざし、取材や写真撮影も伺います。議会事務局までご連絡ください。

【応募資格】 多賀町にお住まいの人
【応募方法】 200字程度
【募集期間】 平成27年 4月6日(月)



編集後記

四季の移ろいを感じるとともに、昨年発生した災害で尊い命が多く失われ、自然の力の偉大さを改めて認識したのは私だけではないと思っています。今年は平穏な一年となるよう念じています。

議会広報の編集について研修を受け、議会活動の内容を限られた紙面で皆さんに読んでいただけるよう試行錯誤しながら編集をしています。より充実した広報に向け、ご意見などをお待ちしています。

川岸 真喜記